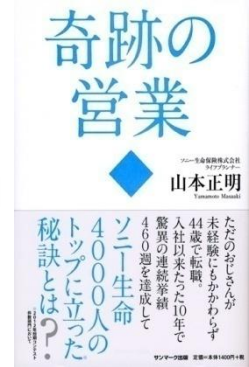


# まささんだより

2018年4月号



平成30年4月号(vol.68)不定期発行です。  
ソニー生命保険株式会社  
神戸ライフプランナーセンター神戸中央支社  
エグゼクティブ ライフプランナー 山本 正明  
〒650-0034 神戸市中央区京町80 クリエイト神戸7F  
tel 078-333-1131 fax 078-333-1130  
携帯 090-9547-8493  
E-mail: masaaki\_yamamoto@sonylife.co.jp  
個人ホームページ: <http://masasan.com>



## 近況報告

大阪産創館で『必ず紹介してもらえ  
る仕組みの作り方』第一回目の  
講演とワークショップを開催し  
ました。皆さんロープレに真  
剣に取り組みました。業績UP  
です！



家族旅行でオーストラリアに行  
ってきました。ケアンズから  
キュランダへ、そしてシド  
ニーまで足を延ばしとても  
楽しく過ごしました！



### 2月～3月に行われた行事

- 2月15～20日 オーストラリア家族旅行(シドニー・ケアンズ)
- 2月22日 産創館「必ず紹介してもらえ  
る仕組みの作り方」講師参加
- 3月6、7日 ロイヤルグループブライダルフェア参加
- 3月10、11日 ロータリークラブ地区大会参加
- 3月12日 アチーブメント明石子午線支部支部会参加
- 3月13、14日 同期エグゼ会参加(東京)



## 「自分は幸運だと思うか不運だと思うか」

なぜ一部の人はずっと幸運に恵まれ、その他の人たちは不運にさいなまれるのか？  
イギリスの著名な心理学者リチャード・ワイズマン博士は「運」について研究し、次のような結論に達した。  
「運というものに科学的な根拠はない。唯一の違いは、自分は幸運だと思うか不運だと思うかである。言い換えれば、自分にいいことが起こると予想するか、悪いことが起こると予想するかである」  
これは非常に含蓄のある言葉であり、肝に銘じる価値がある。  
ワイズマン博士はどうやってこんな結論に達したのだろうか？  
ある研究で、被験者たちに新聞を通読し、掲載されている写真の数を数えるように指示した。自分は不運だと思っていた人たちは答えを出すのに平均2分かかったが、自分は幸運だと思っていた人たちはほんの数秒で答えを出した。なぜなら、その新聞の2頁目に大きな字で「この新聞には43枚の写真が掲載されている」と書かれていたからだ。  
その答えはあまりにも明白だったが、自分は不運だと思っていた人たちはそのメッセージを見落とし、自分は幸運だと思っていた人たちはそれを見た。  
さらに、博士は新聞の中ほどに「実験者に『これを見た』と言えば250ドルが当たる」という別のメッセージを書いておいた。やはり自分は不運だと思っていた人たちはチャンスを見落とし、自分は幸運だと思っていた人たちはチャンスをつかんだ。  
このように、幸運か不運かは、いいことが自分の身に起こることを予想しているかどうかという問題にすぎない。ネガティブな物の見方をしている限り、脳はチャンスに気づかないのだ。  
物の見方がポジティブなら、脳はチャンスを見つけてつかむことができる。  
繰り返すが、私たちの予想が現実を作り出すのである。  
よい結果を予想するなら、脳はそれにいち早く気づくことができるのである。



《幸運な人は幸運が訪れるのを待つのではなく、創意工夫して自分で幸運を創り出す(タル・ベン・シャツハー／心理学者)》

## ライフプランにお変りはございませんか？

ライフプランが変化すると必要な保障内容もまた変化します。  
大切なご家族を守るためにも、定期的にライフプランの確認をしましょう！

その他、近況などもお伝えいただくと嬉しく思います！  
山本までメール、FAX、お電話にて、お気軽にご連絡ください！

E-mail: masaaki\_yamamoto@sonylife.co.jp  
携帯 090-9547-8493 Tel 078-333-1131 Fax 078-333-1130



SL17-3200-0130